

津山文化センターにおける新型コロナウイルス感染拡大予防対策ガイドライン (改定版)

令和3年11月1日改定(第三版)

津山文化センター

本ガイドラインは、津山文化センター（以下「当センター」という）における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策の実施にあたり、安全・安心を確保するため、利用と管理についてのガイドラインとして作成しました。

なお、本ガイドラインは、公益社団法人全国公立文化施設協会「劇場、音楽堂における新型コロナウイルス感染予防ガイドライン（改定版）」（令和3年10月15日付）を参考に当センターの実情に合わせて運用します。

今後、全国公立文化施設協会のガイドラインの改定、国、岡山県及び津山市の方針変更、地域の感染動向等、必要に応じて適宜改定を行います。

利用ガイドライン

施設の利用にあたって、事前に十分な協議を行い、本ガイドラインに基づく公演の実施が困難であると判断した場合は、利用を許可できないこともあります。また、ガイドラインに従った必要な措置が講じられていない場合には、公演中であっても中止を要請させていただく場合もありますのでご了承ください。

必要に応じて「クラシック音楽公演運営推進協議会」及び「緊急事態舞台芸術ネットワーク」等の関係種別のガイドラインも参照いただき、感染防止の取り組みを講じてください。

利用申請時には「津山文化センター新型コロナウイルス感染拡大予防に関する同意書」をご提出いただきます。

なお、国（内閣官房）や岡山県のイベント開催制限の対応指針に基づき、当センター大ホールの利用制限にあたっては、次のことを留意の上でご利用ください。

地域の感染の収束状況、公演の内容、上演時間、想定される観客層等を踏まえつつ、来場者による大声での歓声、声援、唱和等がないことを前提としうる公演については、必要となる感染防止対策を総合的に講じた上で、収容定員 1,003 席（固定席 1,001 席、車イス席 2 席）までの配席とすることが可能です。（上限 100%）

上記以外の公演については、正しいマスクの常時着用と発声の抑制の周知及び事業者による個別注意など必要となる感染防止策を総合的に講じた上で、原則として収容率は国の事務連絡や各都道府県の対応指針に従ってください。座席は異なるグループ間では 1 席空けますが、親子等の同一グループ（5 名以内）では座席間隔を空けずに使用してもかまいません。（収容率は指針を超える場合もあり得る。）

また、全国的な移動を伴う大規模な公演については、各都道府県に事前に相談するとともに、実施の可否や開催方法等について当センターも交えて十分に協議し判断する必要があります。

① 来場者への対応

- ワクチン接種の有無に関わらずマスクの正しい着用、咳エチケット、手洗い・こまめな手指消毒を徹底してください。
- ソーシャルディスタンス（最低1m）の確保を徹底してください。
- 下記の場合、来場を控えてもらうことをチラシ、ポスター、案内文書等で事前に十分に周知するようしてください。その際に来場者ができるだけ不利益を被らず、有症状者の入場を確実に防止できるよう、状況に応じてチケットの振替や払い戻し等の対応策を講じてください。
 - ア 37. 5℃以上の発熱や平熱と比べて高い発熱がある場合
 - イ 咳・咽頭痛など（呼吸困難、全身倦怠感、鼻汁、鼻閉、味覚・嗅覚障害、眼の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐）の症状がある場合
 - ウ PCR 等の検査で、陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - エ 過去2週間以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合等
- 来場者の氏名及び緊急連絡先の把握、名簿作成に努めてください。把握した個人情報は、主催者の責任で管理し、公演終了後1ヶ月程度保管のうえ責任を持って破棄してください。なお、来場者に対しては、感染が発生した場合など必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知してください。
- チケット購入時に来場予定者等に対し、接触確認アプリ（COCOA）や「もしサポ岡山」（もしもの時のサポートシステム）の活用を促してください。

・接触確認アプリ（COCOA）

App Store または Google Play で「接触確認アプリ」で検索してインストールしてください。スマートフォンの近接通信機能（ブリートゥース）を利用して、お互いに分からぬようプライバシーを確保して、新型コロナウィルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができます。利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。

・もしサポ岡山（もしもの時のサポートシステム）

県内の施設・イベント会場の利用の際、QR コードを活用して利用者が連絡先を岡山県に登録することで安心して施設などをご利用していただくためのシステムです。施設を利用された方の感染が後日判明した場合において、登録いただいた方に濃厚接触者の疑いがある場合やクラスターの発生（それを含む）が確認された場合など必要がある場合にのみ、岡山県から LINE 公式アカウント「岡山県 - 新型コロナパーソナルサポート」を介して注意喚起を行います。（端末に LINE がインストールされ、アカウントを取得している必要があります。）

- 入待ちや出待ちは控えるよう注意喚起してください。
- 配慮が求められる来場者、障がい者や高齢者、ワクチン未接種年齢層が多数来場すると見込まれる公演については、感染リスクや重症化リスクが高いことから、関係機関の情報を参考に事前に対応策を検討してください。

② 会場入口

- 来場者に対し、正しいマスクの常時着用を徹底してください。また、マスクを着用していない来場者に対しては、配布や販売できる不織布マスクを準備し、個別に注意等を行うこと等により着用を徹底してください。

正しいマスクの着用について （※「正しいマスクのつけ方(厚生労働省)」参考）

マスク着用時は、鼻にフィットさせたしっかりとした着用を徹底し、できるだけフィルター性能の高い不織布マスクを使用すること。

- 来場者に対し、手洗い・こまめな手指消毒を徹底してください。会場出入口には、手指消毒用の消毒液を設置したり、必要に応じて入場口を制限することも検討してください。
- すべての来場者に対して非接触型体温計等による検温を実施してください。
- 会場入口の待機列は、最低1mの間隔を空けた整列を促す等、人が密集しないよう工夫してください。
- 順路（入口、出口）を設定し、案内掲示をするなど密集を回避するようにしてください。

③ チケット窓口

- 来場者と接する窓口（招待受付、当日券窓口）等では、換気に注意したうえで、不織布マスクの正しい着用に加え、手袋の着用やこまめな手指消毒を徹底し、アクリル板や透明ビニールカーテン等の仕切りを設置し、購入者との間を遮蔽してください。
- チケット窓口の行列では、最低1m（できるだけ2mを目安）の間隔を空けた整列を促す等、人が密集しないような工夫をしてください。
- 現金の取り扱いをできるだけ減らすため、オンラインでの販売やキャッシュレス決済等も検討してください。
- 現金を取り扱う場合には、手渡しせずに手袋の着用やこまめな手指消毒を徹底し、キャッシュトレー等を利用して、金銭の授受をしてください。

④ 入場時

- 入場時のチケットのもぎりについては、入口の滞留状況などを想定し、簡略化（来場者が自らもぎって箱に入れ、主催者は目視で確認）するか、係員のこまめな手指消毒（もしくは手袋着用）の徹底を検討してください。
- 余裕を持った入場時間を設定し、券種やゾーンごとの時間差での入場・開場時間の前倒し等の工夫を行ってください。
- チラシ・パンフレット・アンケート等は、テーブル等所定の場所に置き、来場者自身でお持ちいただくなどの工夫をしてください。

⑤ ホワイエ

- 飲み物以外の食事は長時間マスクを外すことが想定されるため、禁止とさせていただきます。
- 対面での会話や滞留を抑制するよう表示や館内放送等により促してください。
- 公演前後及び休憩中に人が滞留しないよう、段階的な会場入り等の工夫を行ってください。また、休憩時間は長めにとるようにしてください。
- 人と人との距離を最低1m確保するよう努めてください。
- テーブル・椅子等の消毒を定期的に行ってください。

⑥ ホール内

- ホール内では不織布マスクの常時着用を必須とし、来場者同士の接触や会話を控えていただくよう放送（陰アナウンス）等で周知してください。
- 客席は、原則として指定席にするなどして、主催者側で客席状況を管理調達できるようにしてください。
- 客席の最前列席は舞台前から十分な距離を取り、最低でも水平距離で2m以上設けてください。
- 客席内でオペレートする場合は、客席との間隔を十分にとった配置としてください。
- 来場者と接触するような演出（声援を惹起する、来場者をステージに上げる、ハイタッチをする等）は行わないようにしてください。
- 客席扉の開閉は、来場者が触れないよう公演主催者（スタッフ）で行ってください。
- ホール内は、空調設備の適切な運用により効果的な換気と空調に努めています。また、機械換気に加え必要に応じて窓や扉の開放等による自然換気も行ってください。来場者にはホール内の温度が適温にならない場合があるため、体温調整のできる服装でお越しいただくよう事前に周知してください。
- 公演中の携帯電話等の設定については、電源オフではなく、接触確認アプリの作動を妨げないように「マナーモードか機内モード(Bluetoothはオン)」設定としてください。
- 当面の間、親子室のご利用は中止とさせていただきます。

⑦ トイレ

- 余裕を持った休憩時間を設定し、トイレの混雑緩和に努めてください。
- トイレの混雑が予想される場合、来場者に対し最低1mの間隔を空けた整列を促し、誘導してください。
- トイレの使用後は、蓋を閉じてから流すよう周知してください。

⑧ 楽屋・控室

- 密にならないよう、部屋の使用人数を調整してください。
- 飲食は対面を回避し、人と人との距離を確保した上で会話をせず（黙食で）お取りください。
- 常時換気を行い、必要に応じて扇風機、サーキュレーターによる換気を行うとともに、扉や窓等を解放し外気を取り入れてください。
- テーブル・椅子等の物品の消毒を定期的に行ってください。
- 紙皿やカップは使い捨てのものを使用し、ゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、持ち帰りとすることを推奨します。
- 来場者や関係者等、それぞれの立入り可能エリアを限定（来場者が楽屋エリア等に立ち入ること等を制限）してください。
- 出演者へのプレゼントや花束、差し入れ、面会等は控えるように周知してください。

⑨ 物品販売

- 物品販売を行う場合、事前に「津山文化センター物品販売許可願」を提出してください。
- 物販に関わる方は、不織布マスクの着用、手指消毒（手袋着用）を徹底してください。
- 対面で販売を行う場合、アクリル板や透明ビニールカーテン等を設置し、購買者との間を遮蔽し、最低1mの間隔を空けて整列を促す等、人が密集しない工夫をしてください。
- 多くの方が触れるようなサンプル品・見本品は取り扱わないでください。
- 金銭の授受は手渡しせず、キャッシュトレーなどを利用してください。
- 現金の取り扱いができるだけ減らすため、オンラインでの販売やキャッシュレス決済を推奨します。

⑩ 感染が疑われるものが発生した場合の対応策

- 来場者から体調不良が訴えられた際や感染が疑われる際の対応について、事前に検討を行い、速やかに別室へ隔離を行うとともに当センター職員に報告してください。
- 対応するスタッフは、不織布マスクや手袋等の備品を準備してください。
- 速やかに、特定の医療機関及び保健所へ連絡し、指示を受けてください。
- 感染者等の情報は配慮をする個人情報であるため、取り扱いには十分注意してください。

⑪ 退場時

- 余裕を持った退場時間を設定し、券種やゾーンごとの時間差での退場や出口を数カ所設ける等の工夫を行ってください。

⑫ 公演関係者への感染防止策

- 公演主催者は、公演関係者の氏名・緊急連絡先を把握してください。
個人情報保護の観点から名簿の保管には十分な対策を講じるとともに、保管期間（公演終了後概ね1ヶ月程度）後は適切に破棄してください。
- 公演関係者にも接触確認アプリ（COCOA）や「もしサポ岡山」（もしもの時のサポートシステム）の利用を促してください。
- 会場入場時には検温等の対策を講じ、下記に該当する場合は、自宅待機とするようにしてください。
 - ア 37. 5℃以上の発熱や平熱と比べて高い発熱がある場合
 - イ 咳・咽頭痛など（呼吸困難、全身倦怠感、鼻汁、鼻閉、味覚・嗅覚障害、眼の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐）の症状がある場合
 - ウ PCR 等の検査で、陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - エ 過去2週間以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合等
- 公演主催者及び公演関係者は、最低1mを目安とした十分な間隔をとるなど、可能な限り感染防止に努めてください。
- 公演時の出演者を除き、不織布マスクの常時着用を原則とし、公演前後の手指消毒を徹底してください。
- 舞台袖、舞台裏、楽屋などの狭いスペースでの待機時や、喫煙スペースや洗面スペース、飲食周りなどマスクを外しての利用に際し、各場所に応じた定員制限や会話の抑制等を徹底してください。
- 機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限するようにしてください。
- ピアノ使用の場合は、調律師が鍵盤を拭き上げ、演奏者に引き渡すようにしてください。
(アルコール消毒厳禁)
- その他、練習・稽古や仕込み・撤去等においても十分な感染防止措置を講じてください。
- 公演終了後は、舞台裏、楽屋や控室からは速やかに退去してください。
- 公演関係者に感染が疑われる場合には、保健所等の聞き取りに協力し、必要な情報提供を行ってください。

▶公演形態における感染予防対策

- すべての出演者は、十分な間隔（最低1m以上）を保持してください。
- 指揮者は、演奏者との距離を2m以上確保してください。
また、舞台上で会話をする際はマスクを正しく着用する、もしくは2m以上の距離を確保してください。
- 管楽器は、前方の演奏者との距離を最低でも1.5m(可能な限り2m)確保し、リードを単体で吹いたり水抜きの際は布などで飛沫飛散を防いでください。
また、管楽器の結露水は床に直接落とさず、布や紙などに吸収させ、ビニール袋に入れ密閉して持ち帰ってください。
- 歌唱位置から客席最前列までの距離は、水平距離で最低でも3m以上の距離を設けてください。
- 複数人が歌唱を行う場合は、すべての人が最低1m以上の距離を保持し、近距離で向かい合うスタイルや激しい体の動きを伴ったり移動しながら歌ったりする演出は避けてください。
- 合唱は、概ね60名以下の歌手が原則として同一方向を向き、演奏途中で移動しないことを前提に、列の間が最低でも1mの市松模様状となるよう編成してください。
それが困難な場合は不織布マスクの正しい着用とそれに応じた適切な距離を確保するなどの同等の効果を有する措置を講じてください。

＜歌手間の距離の目安＞

形 態	前 後	左 右
マスク着用なし	2m程度	1m程度
マスク着用あり	1m程度	50cm程度
フェイスシールド 又は マウスシールド着用	1m程度	1m程度

管理ガイドライン

津山文化センター施設管理従事者が、会館運営にあたって新型コロナウイルス感染拡大を防止するためのガイドラインです。

施設管理従事者の感染防止対策

- ・出勤前に体温測定を行い、平常時より体温が高い場合、倦怠感や息苦しいなど体調不良がある場合は、就業せず自宅待機とっています。また、出勤時にも検温を励行し、体調管理の強化に努めています。
- ・不織布マスクでの案内対応のほか、手洗い、うがい、手指消毒を徹底しています。
- ・緊急連絡先や勤務状況を把握し、感染が疑われる場合には、保健所等の公的機関の聞き取りに協力し、必要な情報提供を行います。
- ・ユニフォームや衣服のこまめな洗濯を行っています。
- ・事務所内窓口カウンターにアクリル板を設置しています。
- ・金銭の授受は手渡しせず、キャッシュトレーを使用しています。
- ・対面での打合せ・下見等はできるだけ必要最低限の人数で対応しています。

消毒

- ・施設内のドアノブや手すり等、不特定多数が触れやすい場所の消毒を定期的に行っていきます。また、抗菌抗ウイルス剤を塗布することで、不特定多数の人が触れる場所の接触のリスクを低減に努めています。
- ・施設出入り口や共有スペース各所には手指消毒液を設置しています。
- ・舞台、音響、照明等の機材や備品等は、消毒して拭き上げた状態で貸し出しています。
- ・公演前後は、施設内の消毒・清掃等を行うために必要となる時間を確保しています。

換気

- ・2018～2020年にかけて実施された改修工事で新たに設置された十分な換気性能のある空調設備の適切な運用により、効果的な換気と空調に努めています。また、機械換気に加え必要に応じて窓や扉の開放等による自然換気も行っています。

トイレ

- ・不特定多数が接触する場所（スイッチ、便座、洗浄レバー等）は、抗菌抗ウイルス剤を塗布し、定期的に清掃拭消毒を行っています。
- ・トイレの蓋を閉めて汚物を流すように表示しています。
- ・男性用小便器は、1つ空けて利用いただくよう表示しています。
- ・トイレには、手洗い用の液体石鹼を設置しています。
- ・ソーシャルディスタンス確保の表示を行っています。

清掃・ゴミの廃棄

- ・ 清掃やゴミの廃棄を行う者は、不織布マスクやゴム手袋の着用を徹底しています。
- ・ 作業を終えた後は、手洗い・消毒を行っています。

周知・広報

- ・ 各取り組みについて、館内掲示・ホームページ等を通じて周知に努めています。
- ・ 各種注意喚起の表示を行っています。
- ・ 咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指消毒の徹底要請を行っています。
- ・ ソーシャルディスタンス確保への協力要請を行っています。
- ・ 大声や対面での会話を控えることを協力要請しています。
- ・ 館内では、原則水分補給のみとし、その他飲食は控えるよう要請しています。

保健所との関係

- ・ 施設における感染予防対策及び感染の疑いのある者が発生した場合には、速やかに連携が図れるよう、保健所との連絡体制を整えています。

その他

- ・ 体調を崩されたお客様を案内する別室を確保しています。
- ・ 公演中は、適切に感染防止策が行われているか確認を行っています。
- ・ 施設管理者が主催・共催公演を開催する場合は本ガイドラインに従います。

令和2年 7月1日 初版策定
令和2年 10月1日 第二版改定